

2024年

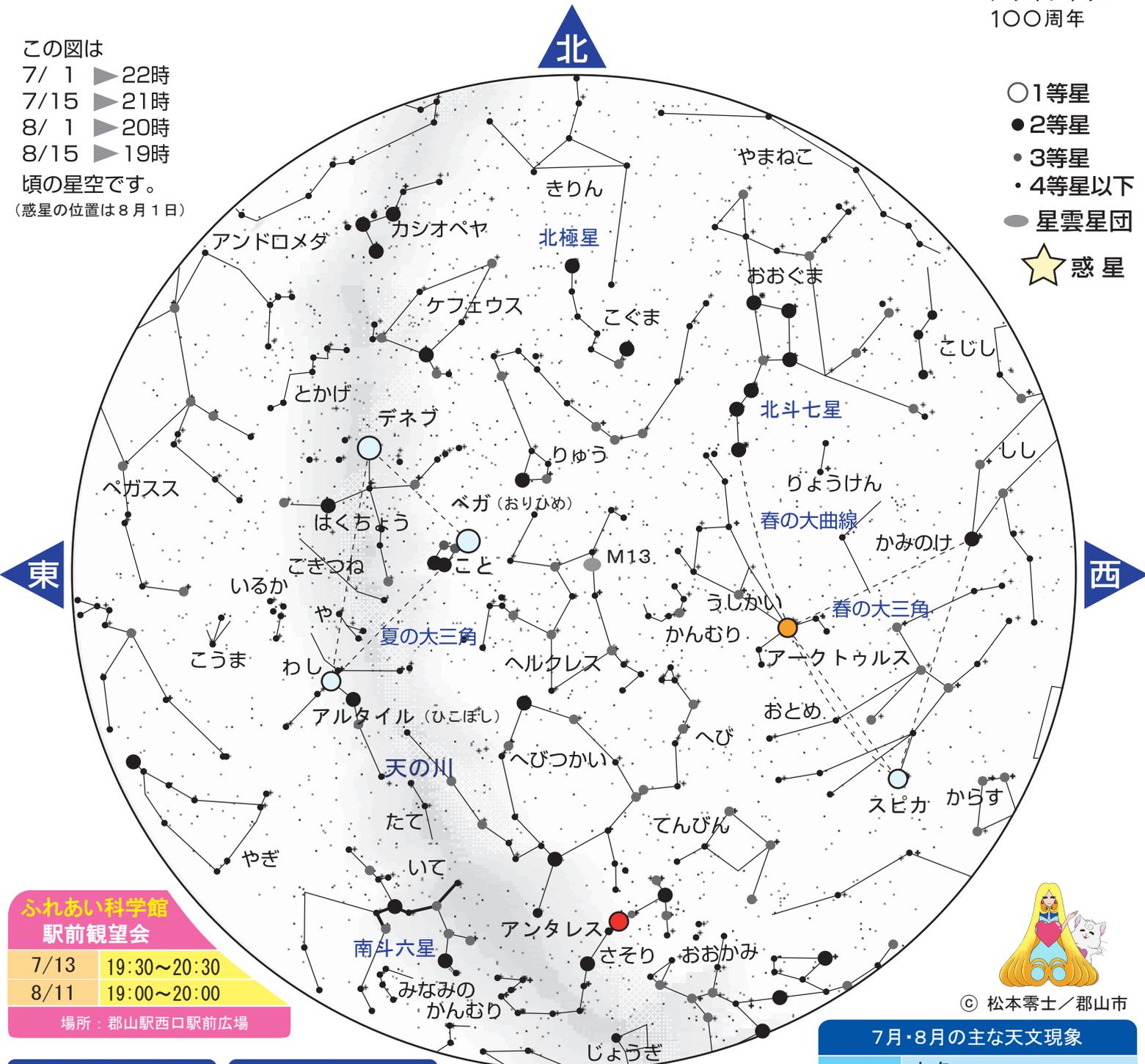
7月▶8月の星空



プラネタリウム
100周年

この図は
7/ 1 ▶ 22時
7/15 ▶ 21時
8/ 1 ▶ 20時
8/15 ▶ 19時
頃の星空です。
(惑星の位置は8月1日)

- 1等星
- 2等星
- 3等星
- 4等星以下
- 星雲星団
- ★ 惑星



ふれあい科学館 駅前観望会

7/13	19:30~20:30
8/11	19:00~20:00

場所：郡山駅西口駅前広場



© 松本零士／郡山市

7月・8月の主な天文現象

7/ 7	七夕
7/22	水星東方最大離角
8/10	伝統的七夕(旧暦の七夕)
8/12	ペルセウス座流星群極大

郡山の日の出・日の入

7/ 1	4:18	19:07
7/15	4:27	19:02
8/ 1	4:40	18:50
8/15	4:52	18:34

月の満ち欠け

新月	7/ 6, 8/ 4
上弦	7/14, 8/13
満月	7/21, 8/20
下弦	7/28, 8/26

※上弦、下弦は
半月です。

星図ダウンロードは
こちらから



この時季は西の空から南の空へ広く見渡してみましよう。西の空には春の夫婦星(アークトゥルスとスピカ)が名残を見せ、低くなってきた北斗七星から迎える春の大曲線も横向きのアーチを描くようになります。一方で、南の低空にはさそり座のアンタレスの赤い輝きが目に留まります。そこから頭を上げると夏のシンボルである夏の太三角が見つかるでしょう。夏の太三角を作る3つの1等星のうち、ベガとアルタイルが七夕の星です。7月7日ではまだ低空ですが、旧暦の7月7日(今年は8月10日)は空高く昇って見やすくなります。梅雨も明けた旧暦の七夕を楽しみましょう。この2人の間を流れる天の川ですが、本当の空で見たことがないという方は、ぜひこの夏チャレンジしてみましよう。郡山市内でも中心市街地から離れた場所ですと月明りがなければぼんやりと淡い流れが見えてきます。肉眼では難しいという方は双眼鏡を使うのもおすすめです。夏の太三角からアンタレスに向かって双眼鏡を動かしていくと、たくさんの星々が見えてきます。天の川沿いには星雲や星団などの天体も多いですので、注目してみてください。毎年恒例のペルセウス座流星群は、今年は上弦近くの月がありますので月が沈んだ後の夜半から明け方に楽しましよう。